

7 その他全般的事項

<工学研究科 情報システム工学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
(1~6の項目により記入した事項以外は該当なし)	

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- 1) 福岡工業大学FD推進機構運営委員会 【別添資料】
- 2) FD推進大学院部会【別添資料】

b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)

- 1) 福岡工業大学FD推進機構運営委員会
(学長、学部長、研究科長、教務部長、学生部長で構成。)
- 2) FD推進大学院部会
(研究科長、各専攻主任を中心に構成。)

c 委員会の審議事項等

大学院の教育改善、授業工夫を組織的に進める方法について (各種アンケート調査等)

② 実施状況

a 実施内容

- ・ アドミッションポリシー、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシーの検証
- ・ カリキュラムの検証及び改善
- ・ 授業改善についての方法検討
- ・ 修士論文達成度アンケートによる研究指導評価・改善
- ・ 教育改善アンケートによる教育・研究全般に関する評価・改善

b 実施方法

FD推進大学院部会において上記取組みについて組織的改善を検討している。

c 開催状況 (教員の参加状況含む)

定例 (年11回) の部会には各専攻からの代表教員が参加し、議論を行う。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

各種アンケート結果は、自由記述も含めWeb公開し、フィードバックを実施。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 修士課程学生前期授業アンケート（8月）、後期アンケート（1月）

b 教員や学生への公開状況、方法等

各種アンケート結果は、自由記述も含めWeb公開（学内のみ）。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本情報システム工学専攻では、情報システム工学の学問体系の理解の基に、情報技術、ロボット制御、生体システムに関連する基本的知識を体系的に理解した上で、これらを総合的に応用して問題を解決する能力を身に付け、情報システムの社会的需要に柔軟に対応できる高度な職業人を養成することを目的としている。

そのために、講義・演習および専門領域に分かれた特別研究からなるカリキュラムを準備し、適切な授業及び研究指導を実施している。

・教育課程の実施について

本専攻では、学生の専門分野及び修了後の進路などを考慮した教育課程を構築するために、担当教員の専門分野を活かしたカリキュラムを編成しており、5月時点で今年度の講義は全て計画どおり実施している。

・履修指導

入学後の4月に、専攻担当教員及び大学院事務局によるオリエンテーションを実施し、履修モデルなどを示しきめ細やかな指導を実施した。

・学生の受入

入学定員8名に対し10名の志願者があり、入学者は9名となった。

今後は経済的な支援制度の充実を図り、厳格な入学者選抜を実施し、適正な定員の充足に努めていく。

・点検・評価等

本学においては、大学教育における教育の理念、目的に照らして、教育活動及び研究活動の状況を点検、評価することにより、現状を正確に把握、認識するとともに、その達成状況を評価し、評価結果に基づく改善の推進を図ることを目的として、自己点検・評価を3年ごとに実施し、HP上に公開している。

現在、本学では、自己点検・評価に関する委員会を設けており、特に教育活動と研究活動を中心として、大学の組織的な教育評価及び個々の教員の教育活動に対する評価の両面から実施するとともに、教育研究活動の水準向上の目標を定め、その達成状況を評価し、評価の結果を改革に結びつけるシステムとして実施している。

以上のとおり、本専攻では設置の趣旨・目的に沿って計画どおりに展開しており、合わせて適切な点検・評価を行っている。今後も引き続き、取組みの強化を図っていく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表時期

・平成27年4月1日 公表

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し大学HP上に公表

③ 認証評価を受ける計画

・平成24年度に評価機関（大学基準協会）より適合の認証評価

・平成23年よりR&I及び平成26年よりJCRから、それぞれ「A」「A+」の格付け評価を受審。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (○ 有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成28年年6月下旬 予定)